

あなたの ギカイだより

No.149



2025.10.17

CONTENTS 8月臨時会 9月定例会

- P 2 … ひと☆人 伝統文化の継承で町を元気に
- P 3 … 皆さんに聴きました
- P 4 … 議会でこんなことを決めました
- P 6 … 令和6年度の決算を認定しました
- P 8 … 一般質問で町政を問いました



ひと☆人

伝統文化の継承で町を元気に

漆原東八木節保存会（日桜組）会長
塩野 美恵子 さん

Q漆原東八木節保存会（日桜組）は結成して、どのくらいになりますか。

A戦時中の中断はあったようですが、約100年前に青年団として発足しました。当時は娯楽も少なく、地域の若者は皆さん参加していたようです。昭和の後期から地域文化の継承と伝統文化を体験・習得させるために、小学生を対象に傘踊りを始め、当時は当たり前のように子どもたちが参加してくれました。

Q普段どのような活動をしているのですか。

Aおはやしは月1回、傘踊りは行事の前に10日間くらい練習しています。最近は町内で活動する八木節団体と合同で練習もしています。



傘踊りを教える塩野さん

Q吉岡町は若い子育て世代が多数移住し、子どもの人数が増えています。その中で、若い世代や子どもたちとの関わりについて、会としてどのように取り組まれていますか。

A育成会の役員さんと相談して、なるべく子どもに参加してもらえよう努力しています。今までは小学校卒業と同時に会も卒業してしま



インタビュアーの宮内議員・春山議員と

いますが、最近では、中学生になっても続けてくれる子どもがいてとてもうれしいです。

Q町議会や町政に望むことはありますか。

A町をあげて伝統文化の継承と育成に力を注いでほしいです。もっと活躍する場所や機会があれば、若い人たちの励みになると思います。

Q最後に、住民の皆さんに一言お願いします。

A以前は傘踊りと一緒に扇子踊りもしていたので、復活できるように、もっと大人にも参加してほしいです。他地区との交流も始まり、八木節を通して吉岡町の一体感を感じています。また、各地域で行なわれているお祭りや行事にも積極的に参加をし、地域を盛り上げてもらいたいです。伝統文化・伝統芸能継承で町を元気にしたいです。老若男女問わず、多くの人に参加をお願いします。



合同練習でおはやしにも熱が入る

皆さんに聴きました

私たちが聴きました

議会広報常任委員会が、町の課題について、関係する住民の皆さんにインタビューして、ご意見や思いを聴きます。今回は「伝統文化と地域のつながり」をテーマに、皆さんにお聴きしました。



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員



はるやま かずひさ
春山 和久 議員



お祭り練習にたくさん参加してほしいです

指導者の高齢化と後継者の育成、若い世代の参加増が課題です

お祭り当日だけでなく、日ごろから伝統文化に興味をもってほしいです

既存の芸能だけではなく、新しい芸能を取り入れる試みも必要です

他地区との連携についても考えていきたいです



お祭りなどを通して、住民同士のつながりが広がってほしいです



子育て世代以外の住民の交流が広がってほしいです

誰でも参加しやすい行事が少ないと思います

子どもの思い出になるような行事を継続してほしいです

時代に応じた見直しを行うことが継続につながると感じています



令和7年第3回臨時会・第3回定例会 議会でこんなことを決めました

令和7年第3回臨時会が8月5日に開会されました。議案1件が提案され、全会一致で可決しました。また、令和7年第3回定例会が開会されました。会期は9月1日から16日までの16日間でした。議案12件、認定7件、同意2件が提案され、いずれも賛成多数で可決しました。

第3回 定例会

令和6年度各会計決算を認定しました

一般会計、特別会計4会計および企業会計2会計の決算を認定しました。委員会での主な質疑および各会計決算状況は6・7ページをご覧ください。

保育園増築に補助金を支給します …1億1391万円

第一保育園と第四保育園を増築します。第一保育園は本年度に、第四保育園は令和8年度に完成予定です。また、第四保育園は増築後、認定こども園に移行します。

Q定員はどれくらい増えるのか。

A第一保育園が25人、第四保育園が保育園部分25人、幼稚園部分15人の合計40人。



認定こども園に移行する第四保育園

給食センター用地を取得します …8064万円

老朽化により建て替えを計画中の給食センターの候補地が決まり、建設地の用地約4700㎡を確保します。場所は明治小北東となります。

Q完成までのスケジュールは。

A補正予算が決まれば、本年度に用地確保し設計計画などの後、令和11年度中の稼働を予定。



給食センター建設予定地（北下）

ここが知りたい ギカイのイロイロ

決算の認定とは

町長から提出された決算書を議会が審議し、予算が適正かつ効率的に使われたかを判断して認定または不認定の判断を下すことです。住民の代わりに行政の効果を評価し、その結果を今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てるための重要なプロセスです。

定例会と臨時会とは

議会は、いつも開かれているわけではなく、定期または臨時に一定の期間だけ開かれます。定期的に開かれる議会を定例会、必要に応じて開かれる議会を臨時会といいます。吉岡町議会の定例会は、年4回で3月、6月、9月、12月に招集されます。

第3回定例会 賛否一覧



※¹農地利用最適化推進委員 の定数を改正しました

農地面積の減少に伴い、農地利用最適化推進委員の定数を、8人から7人へと改正しました。なお、※²農業委員の定数には変更はありません。

※¹農地利用最適化推進委員（定数7人）

担当区域における現場活動に重点を置き、担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進などを図ります。

※²農業委員（定数8人）

農業委員会の総会で議決権を行使し、農地の貸借・売買・転用許可などの審議や、農業委員会の活動方針の決定を行います。

公園条例を定めました

公園に関する2つの既存の条例を廃止し、新たな条例で都市公園に指定することで、公園整備に当たり面積要件に応じて、国の補助金を活用することができるなどのメリットがあるため、公園条例を定めました。



条例制定で公園再整備が進む（天神東公園）

教育長と教育委員の任命に同意しました

教育長は任期満了に伴い、山口和良さん（前橋市）を全会一致で同意し、再任となりました。任期は3年です。

また、教育委員として新たに河合乗信さん（大久保）の任命に、全会一致で同意しました。

教育委員は教育委員会の審議のほか、学校行事・会議への参加など、さまざまな活動を行います。任期は4年です。



やまぐち かずよし
山口 和良さん
（前橋市）



かあい しょうしん
河合 乗信さん
（大久保）

第3回 臨時会

学習端末を入れ替えます

…1億1842万円

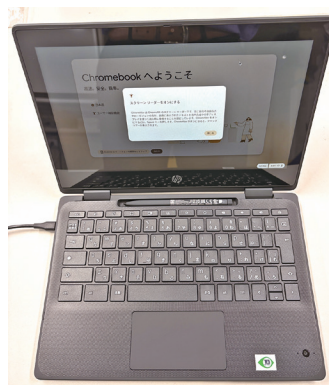
令和2年より端末を利用した学習を続けてきましたが、故障や経年劣化のため、予備機含め2361台を入れ替えます。

Q 入れ替え費用に補助金はあるのか。

A 国・県からの補助金が3分の2充当される。

Q 古い端末の処分費用は含まれるか。

A 処分費は別契約。今後検討。



更新される新端末

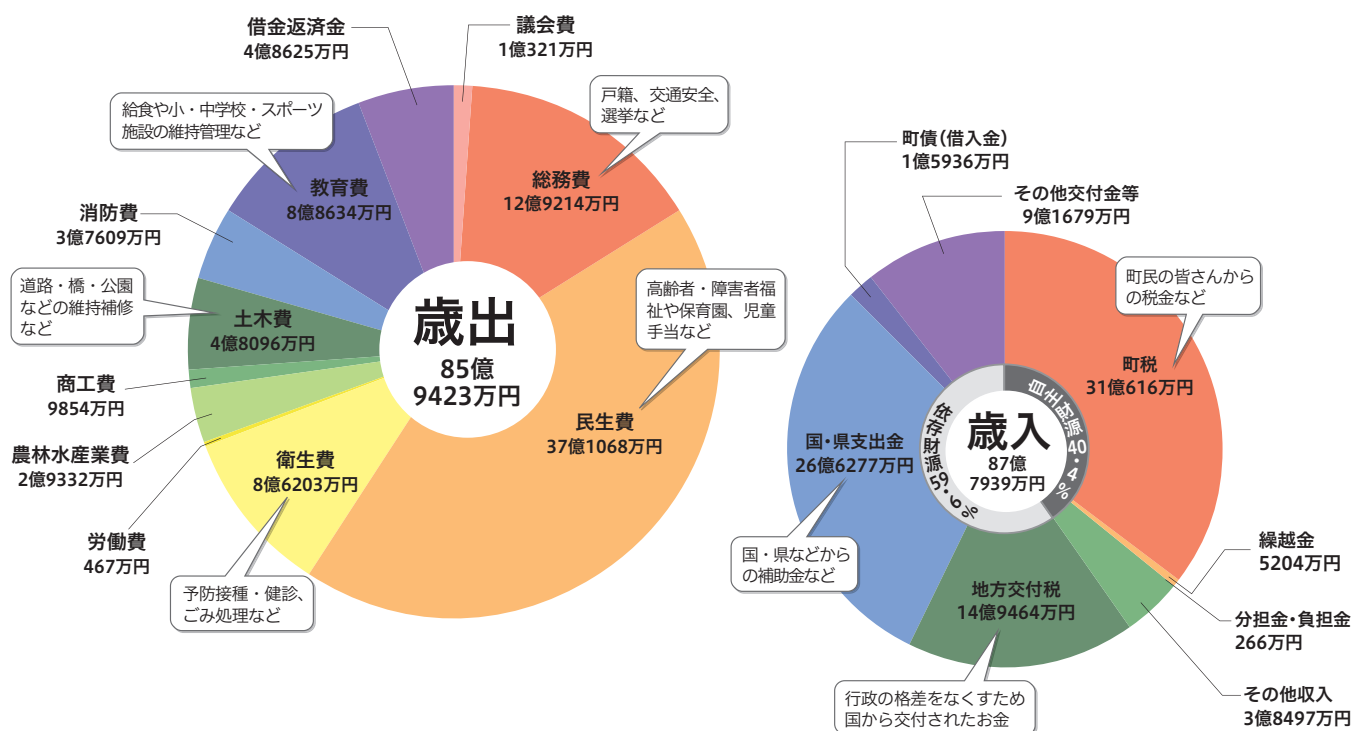
第3回臨時会 賛否一覧



令和6年度の決算を認定しました

第3回定例会で、令和6年度の各会計決算を認定しました。一般会計決算の内訳・各会計決算の概要・令和6年度に実施された主な事業を紹介します。

令和6年度一般会計決算の内訳



ここも大事

令和6年度 会計別 決算

(万円未満は四捨五入)

会 計 名			歳 入	歳 出
一般会計			87 億 7939 万円	85 億 9423 万円
特別会計	学校給食事業		1 億 4034 万円	1 億 3951 万円
	国民健康保険事業		18 億 6740 万円	18 億 4879 万円
	介護保険事業		15 億 5540 万円	14 億 8948 万円
	後期高齢者医療事業		2 億 8890 万円	2 億 8195 万円
企業会計	水道事業	収益の収支	4 億 6959 万円	3 億 9148 万円
		資本の収支	3 億 9330 万円	8 億 9654 万円
	下水道事業	収益の収支	4 億 8961 万円	4 億 5055 万円
		資本の収支	2 億 386 万円	3 億 5857 万円

令和6年度主な事業

HiBALI プランの関連費用

ICT 支援員派遣委託料など … 2 3 2 0 万円

ICT を活用した先進的な取り組みが大きく評価され、県内外や海外から多くの団体が視察に来ています。



保育園・認定こども園

運営費の給付 … 1 3 億 1 7 5 万円

町の乳幼児たちが通う保育園・認定こども園に国の基準に基づき運営費を支出しますが、物価高騰・人件費高騰の影響により増額となりました。



駒寄第3学童クラブを増築

増築工事など … 4 8 6 3 万円

共働き世帯の増加による学童ニーズの高まりへの対策と、児童の保育環境などの改善を図るため、増築工事を実施し、定員が40人増加しました。



吉岡中部活動の地域移行

謝礼・保険料など … 5 3 8 万円

15ある全ての運動部と、文化部では土日練習のある吹奏楽部・合唱部が移行済みで、移行実績は県内トップです。現在の指導者数は36人で、毎月第2・4週の土日に指導していますが、最終的には全ての土日を地域の指導者にする予定です。



ひばりの家

開設準備費 … 2 8 1 万円

令和6年7月に教育支援センター「ひばりの家」が開設されました。10月から給食の提供も開始され、学校復帰を第一目標とはしない新しい居場所として、学校に気持ちが向きづらい児童・生徒を迎えています。



議員の知見と活動の集約

一般質問で町政を問いました

一般質問は、町政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し見解を求めるものです。議員の知見と活動の集約であり、議会活動の「花形」とも言われています。



◀本会議の様子を
生中継・録画でも配信



■廣嶋 隆 議員 …………… 9 ページ

1. 林道^{あわごもり}栗籠・井堤^い線3年間の検討は
2. タクシー助成券 72 枚の根拠は

■春山 和久 議員 …………… 13 ページ

1. 庁舎・コミュニティーセンターの老朽化^{は、あく}の把握は

■山崎 守人 議員 …………… 10 ページ

1. こども家庭センター設置は
2. 町内学校で不祥事発生はあるのか

■飯島 衛 議員 …………… 14 ページ

1. 公会堂のLED化に助成を
2. 「こども誰でも通園制度」の対応は

■飯塚 憲治 議員 …………… 11 ページ

1. (仮称) 杉下交差点西方面の将来像は
2. ネーミングライツの実施は
3. 桜並木の管理は

■大井 俊一 議員 …………… 15 ページ

1. 自治体間交流についての町の考えは
2. 部活動地域移行の指導者処遇は

■秋山 光浩 議員 …………… 12 ページ

1. 今後の町内農業に対する施策は
2. 産学官包括連携協定締結の現状は

■小池 春雄 議員 …………… 16 ページ

1. 経費削減策とその効果は
2. 物産館「かざぐるま」の今後は

■宮内 正晴 議員 …………… 13 ページ

1. 観光案内板の設置を

■坂田 一広 議員 …………… 17 ページ

1. 町の財政状況は
2. 大規模事業は他の事業に影響を与えかねないが

林道栗籠・井堤線 3 年間の検討は



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



A 延伸開通に向け県関係と相談した

Q 林道栗籠・井堤線について、前回の一般質問から3年が経過したが、この間どのような検討をしてきたのか。

A 引き続き延伸開通に向け、県関係団体などと相談・検討を進めてきた。洗い越しの問題は安全性の面で認められない。ボックスカルバートも含め検討を続けている。また、事業を進めるためには財源確保が大事。町の財政状況も確認し、補助金の活用ができないか検討を続けている。

Q 林道栗籠・井堤線が開通不能になった原因は。

A 洗い越しについて、事前に渋川土木事務所と協議した内容を、最終的に確認を行わなかったことが原因である。また、降雨時に対する危機意識が強まり、安全性の担保が強く求められることになったのも一因と考える。

Q 林道栗籠・井堤線を今後どのように考えるか。

A 林道の機能を維持するための点検や補修整備を行う。滝の沢川渡河も含め、残りの部分については各課題を引き続き検討し、林道栗籠・井堤線の開通に向けて努力を続ける。



令和3年からゲートを設置して常時施錠した状態
(林道栗籠・井堤線)

タクシー助成券 72 枚の根拠は

福祉タクシー以下の金額にならぬよう設定

Q タクシー助成券年間最大で 72 枚の根拠は。

A 令和2年度から福祉タクシーと相乗り推奨タクシーを1本化し、タクシー運賃など助成事業として実施した。福祉タクシー初乗り運賃730円を想定し、年間上限48枚とした。統合するにあたり、福祉タクシー以下の金額にならないよう考え、3万6000円分の72枚とした。

Q タクシー助成を受けるには、申請書を役場に提出し交付を受ける。2度役場に行かなければならない。改善の余地があるのでは。

A 以前は申請・交付で来庁2度の時期もあった。今は、初めての利用者は申請時に役場に行けば、タクシー助成券は郵送するので1度で済む。以前から申請している人は、3月に役場から申請書と返信用封筒を同封して郵送し、受け付けている。タクシー助成券は郵送する。

Q 1回利用で往復8枚使えば1年間9回分にしかない。週1回の買い物と通院を兼ねても、年間52回分の助成券が必要になるので、枚数を増やす必要があると考えるが。

A 令和6年度の実績から年間52回分を計算すると、町負担分は3139万円（令和7年度予算615万円）となる。枚数の増については慎重に検討していく。



タクシーも公共交通の一つ 日常生活の利便性向上に活用

こども家庭センター設置は



やまざき もりひと
山崎 守人 議員

A 令和8年度以降の設置に向け準備



Q国は、令和6年度から全国の自治体にこども家庭センターの設置を進めており、令和8年度末までに全自治体での設置完了を目指している。こども家庭庁の発表では、群馬県の設置自治体は全国平均よりも低く、残念ながら吉岡町も未設置である。設置予定の時期は。

A全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う機関として、こども家庭センターの設置に努めることとされており、令和8年度以降、早期設置に向け準備を進めている。

Qセンターの設置に向け、人材確保の検討や、専門職確保の課題などについて、町の見解は。

A統括支援員の人材育成、確保に努めている。



こども家庭センターの早期設置が求められる
(吉岡町保健センター)

Q国や県の支援制度を活用しながら、人的体制の整備など、設置準備を進める計画があるのか。

A現時点において明確な計画はないが、国などの支援を活用しながら、令和8年度以降、できるだけ早い段階での設置を目指したいと考えている。

Qいろいろな民間事業者があり、それらを活用することで柔軟かつ継続的な支援体制を構築できると考える。活用により職員負担の軽減と住民サービスの質の向上ができると考える

がいかがか。

A財政的な負担も生じることから、外部委託については慎重な検討が必要である。

町内学校で不祥事発生はあるのか 発生していないと判断している

Q全国的に教職員による不祥事が相次いで報道されており、保護者などが不安な気持ちであると思うが、町内学校での不祥事発生事例はあるのか。

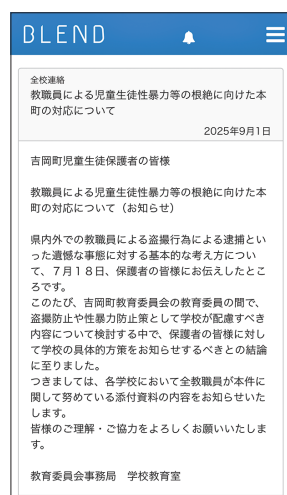
A各学校の教員が子どもの人権を尊重し、服務規律を確保しようと組織的かつ定期的に取り組んでおり、事案は発生していないと判断している。

Q不祥事防止に向けた研修や啓発活動を実施しているのか。

A教職員・教育委員会の職員も含め、服務規程に関する研修や、県作成の研修動画視聴を徹底するなど、発生防止に努めている。

Q研修などの取り組みを周知することで安心できと思うが、周知方法は。

A保護者に向けた連絡ツールを活用している。またホームページにも掲載したいと考える。



学校・教育委員会の対応に見える化が必要
(一斉連絡ツール画面)

（仮称）杉下交差点西方面の将来像は



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



A 次期マスタープランで検討

Q 宮東交差点から北へ 1.3km の（仮称）杉下交差点、ここから、西へ上野田までの地域の将来像は。

A （仮称）杉下交差点から、西方向に関越自動車道まではクリーンエネルギー関連の拠点候補地として、次期都市計画マスタープランを検討する予定。さらに関越自動車道から西方面は、一部住居を誘導する区域となっている。



関越自動車道までが範囲となった開発候補地

ネーミングライツの実施は 財政健全化の施策で検討中

Q 企業としては宣伝効果と社会貢献、町としては収入の確保などの効果があるネーミングライツ。県内でも多くの先行例があり、ノウハウ・認識も浸透している。逼迫している町予算の支援策として実施すべきでは。

A 財源不足は全国の自治体の課題。本町でも財政健全化に向けた施策を検討しており、その中でネーミングライツ制度の導入も視野に入れた多様な財源確保を考えている。

Q 本町のふるさと納税受け入れ額は令和 6 年度で前年比 33% の増加。行政の努力が感じられるが、総額は十分と言える状態ではない。他自治体の具体的施策などを参考に、町内の

知見ある人たちの協力もいただき、増収への道筋を見つけるべきと思うが。

A 行政のふるさと納税増収で行えることは返礼品の PR 活動が主で、これまで商工会、物産館などに協力をお願いしている。今後も経費をできるだけ抑え、増収の結果に結びつくように努めていく。

桜並木の管理は

県と協議中

Q 平成 30 年に「花と緑のぐんまづくり」で植樹した利根川沿いの桜並木。早急な管理方法の決定と管理の実行計画、および下草刈りの担当と低木の抜根計画は。

A 管理や抜根作業に関する方法は県と協議中。

Q 気候変動と夏の高温、地球温暖化の対策は、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換が必要。再エネへの取り組みは。

A 再エネ導入の課題は財源ではあるが、地球温暖化対策は吉岡町だけではなく、世界共通の課題。町では地球温暖化対策実行計画を本年度策定中のため、各公共施設に実効的な導入計画を立てていきたい。



今後の管理方法は県と協議

今後の町内農業に対する施策は



あきやま みつひろ
秋山 光浩 議員

A 地産地消を促進した対策を講じる



Q ①自らの高齢化に加え、後継者ができない。

②農業機械や肥料などの値上がりで、結果的に収益につながらない。

などの理由から衰退化が進む町内農業の立て直しに、町はどのように関わっていくのか。

A 長期的に収益を上げられる農業経営を支え、地産地消を促進し、地域の文化を生かした農業を目指せるような対策を講じたい。

Q JA 北群渋川では、1年間で100人を超える正組合員が辞めてしまうという危機的現象が起こっている。農協と情報を共有しながら、農家の声を拾い上げてほしいと思うが。

A 現場の声を踏まえ、長期的視野での環境づくりと経営基盤強化のルールを考え、行政として関われる部分には、積極的に関わりたいと考えている。



毎年繰り返したいこの風景

産学官包括連携協定締結の現状は

個別連携協定締結への協議を開始

Q 群馬大学発ベンチャー企業から提案を受けた産学官連携の包括協定締結への現状と、可能性については。

A 庁内で検討した結果、連携分野が多岐にわたる包括連携協定ではなく、特定の分野に限定

した個別連携協定の締結に向けた協議を開始している。

Q 群馬大学発ベンチャー企業から生産依頼を受けた肥料（土壌改良材）を使用して生産した町内産の米と、その米を原料として作った日本酒の展開に、町としてはどのような期待感を持っているか。

A 県庁内記者クラブで記者発表を行うなど、今までの事業遂行に安堵すると共に、大きな期待感を持っている。地産地消・循環型農業の推進を目的とし、ふるさと納税返礼品への出品など、この肥料（土壌改良材）を活用したさまざまな商品開発にも期待している。

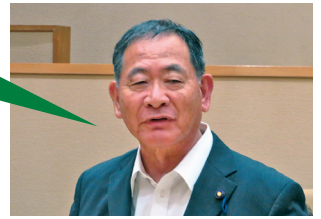


展開が期待される町内産米で造った日本酒

Q この町内産の米に、吉岡町に由来したオリジナル名称を予定している。少し先のことにはなるが、小学校5・6年生くらいを対象とした公募を考えている。その際には教育委員会の全面的バックアップが必要となるが、協力依頼への対応は。

A 子どもが町や身近な地域課題の解決に関わり、郷土や社会のために役立つ体験は、非常に意義深いことと考えているので、喜んでお引き受けしたい。依頼を受けた場合には、内容を吟味したうえでバックアップしていきたい。

観光案内板の設置を



みやうち まさはる
宮内 正晴 議員

A 停車可能な駐車場に設置が理想



- Q** 駒寄スマート ^{インターチェンジ} I C に観光案内板の設置を。
- A** 案内板設置の検討はしたが、道の駅や商業施設の停車可能な駐車場に設置が理想。
- Q** 船尾滝遊歩道の安全確保は。
- A** 遊歩道の整備は、安全管理と自然を生かした観光とのバランスを図り、継続し検討。
- Q** 船尾滝の説明案内板の修復は。
- A** 看板設置ができるように予算の確保で実施。
- Q** 吉岡町特産品の PR 活動は。
- A** テレビ放映で本町の魅力が紹介され本町来訪への動機付けがされた。また、消費者にとって魅力的な購買機会を創出していきたい。
- Q** 外来種のクビアカツヤカミキリムシの調査は。
- A** 県で調査をまとめている。本町も本年6件の通

報があり、3件の成虫が確認された。

- Q** 午王頭川側道の欠損補修の予定は。
- A** 渋川土木事務所と協議していく。
- Q** 避難場所を兼ねた身近な公園設置の予定は。
- A** 都市計画マスタープランで配置計画を検討。
- Q** 精神疾患の教育導入は。
- A** 現時点では理解が難しく、慎重な取り扱いが必要。



魅力ある吉岡町観光スポット

庁舎・コミュニティーセンターの老朽化の把握は



はるやま かずひさ
春山 和久 議員

A 定期検査を行っている



- Q** 庁舎・コミュニティーセンターの老朽化は把握をしているのか。
- A** 施設老朽化の現状把握はしている。特にコミュニティーセンターは定期検査を行っており報告を受けている。
- Q** 今後の整備は。建て替えなのか、建物の長寿命化を図るのか。
- A** いずれにしろ、現在の建物の診断を行わなくては経済性などの比較検討ができない。また、両施設に限らず、町内にある複数の施設が耐用年数を迎えようとしているなかで、施設の集約なども検討しなければならない。さらに人口減少に応じた自主財源の減少も危惧され、財政状況の悪化の背景も検討材料となる。

- Q** 人口増や税収増が見込まれる今こそが、将来世代への責任を果たす判断の時期だと思うが。
- A** 庁舎に限らず行政施設は住民福祉を増進するために重大な役割を果たし、地域の発展に寄与するものである。決断のタイミングについて賛否両論はあるかと思うが、今までの施設整備同様、適切な時期に行いたい。



全ての施設がいずれは耐用年数を迎える（役場庁舎）

公会堂のLED化に助成を



いいじま まもる
飯島 衛 議員



A 集会施設修理事業で対応したい

Q 各自治会には、公会堂などがあるが、自治会のLED化の工事に対して、負担軽減の観点から、助成をすべきと思うが。

A LED化の補助については、集会施設修理事業として補助対象である。補助額は、20万円以上の費用の2分の1で、限度額100万円となっている。また、集会施設が多数あるため、複数年かけて進めたい。

Q 水銀に関する水俣条約に基づき、一般照明用蛍光灯の製造と輸出入が2027年末で禁止される2027年問題があるが、公共施設のLED化への対応はどうなっているのか。

A 町内54施設の調査では、導入済みが9施設、一部導入済みが11施設、導入なしが31施設である。今後の計画では、財政状況を考慮しながら、随時更新したい。



公会堂もLED化が必要

Q 一般家庭でLED化を行う際、「既存の設備との組み合わせが悪い場合、発煙や落下などの事故が発生する恐れがある」と、総務省や消防庁が注意喚起を各都道府県に通知したとあったが、町民に対して、広報などで注意喚起が必要と思うが。

A 蛍光灯などの製造が禁止になることを知らない町民もいると思うので、多くの町民へLED照明への計画的な交換を促せるよう、広報や回覧板で周知を検討したい。

Q 町の区画線や外側線が薄くなっているところが多々見受けられる。北海道では、警察官が横断歩道の白線を応急処置的にスプレーで補修したとの報道があったが、経費の安いスプレーでの塗装はできないのか。

A 道路上の工事であることから、道路交通法にかかる知識や路面表示の施工に関する資格を有する専門業者が適切と考える。

「こども誰でも通園制度」の対応は

増築工事が進められている

Q 令和8年度から「こども誰でも通園制度」が全ての自治体で実施されるが、町の対応は。

A 町内の未就園児は令和7年8月1日時点で、239人いる。第一保育園では令和8年4月の開所を目指した増築工事が進められ定員が25人増加。第四保育園では令和7・8年度の2カ年事業として、増築工事を実施する予定。整備後は保育園部分25人、幼稚園部分15人増加で合計40人の定員が増加する予定。「こども誰でも通園制度」も含めた受け皿準備が進んでいると認識している。



増築工事が進められている第一保育園

自治体間交流についての町の考えは



おおい しゅんいち
大井 俊一 議員

A 議会・教育委員会と連携し進める



Q 自治体間交流についての町の考えは。

A 交流を広げる機会を積極的に捉えて、議会と話しながら進めていきたい。

Q 交流につながらなかった事例は。

A オリンピックキャンプ地誘致関係などでチャンスはあったが、自治体間協定につなげる発想がなかった。



視察から協定につながることも（開成町議会表敬訪問）

Q 子どもたちの人材育成を考えた海外交流は。

A 現地の文化に接し、顔を合わせた交流に勝るものはない。教育委員会と連携し検討を進める。

Q 県内野生動物の抗体価上昇に対する重症熱性血小板減少症候群（SFTS）対策は。

A 予防方法や対処方法を、ホームページなどでお知らせしたい。

Q 子どもたちの心に故郷を感じさせる自治会の夏祭りなどで、町にできることは。

A 参加ルールの調整やイベントスケジュールの公開については、要望のある自治会以外考えていない。

Q 無形文化の継承をどう考えるか。

A 本年度文化協会の協力で無形文化に貢献する小・中学生表彰制度を整備した。

部活動地域移行の指導者処遇は

検討委員会と環境整備を図っている

Q 部活動地域移行に伴う指導者などの処遇は。

A 人づくり・町づくりのチャンスと捉え、持続可能な地域のスポーツ・文化・芸術活動体制の構築を図るため、町部活動地域移行検討委員会と環境整備を図っている。その目的は、少子化の進行の中、将来にわたりスポーツ・文化・芸術活動に親しむ機会を保障することにある。勝利至上主義ではなく、人権・安全を重視した信頼される指導者としてのあり方を追求している。



オリンピックの指導を受ける吉岡中学生徒

Q 酷暑の夏、公園の安全利用は。

A 現在、上野田ふれあい公園のミストポールのみ。天神東公園を再整備計画中。

Q 酷暑の夏、町施設の自動販売機設置状況は。

A 社会体育館と城山みはらし公園に設置。

Q 小・中学生が利用する施設の設置状況は。

A 自動販売機には災害発生時の備蓄庫としての役割と、地域貢献型自動販売機の設置を進める企業の存在もあり、町民グラウンド・八幡山グラウンド・緑地運動公園への設置について検討していきたい。

経費削減策とその効果は



こいけ はるお
小池 春雄 議員



A 一件査定方式を採用

Q 経費削減策とその効果は。これまでどんなことに取り組み、その結果はどうであったか。その中には喜ばれるものもあれば、批判・制度の後退ではないかとの声も聞かれるが、このような件に対して、どう対応していくのか。

A 具体的な事業や施策を個別的に精査する、一件査定方式を採用している。当然、全ての人が納得することは困難だが、限られた財源であり、既存事業であろうと、優先順位の低い事業など、苦渋の決断だが削減していかなければならないと考えている。



先進地となる取り組みを（徳島県上勝町のリサイクル施設）

Q 経費の削減により、それが費用対効果でどうであったか、検証は必ず必要。町が思っていた目的に合致するか、検討の結果必要であればまた元に戻す勇気も必要だと思うが。

A 評価をした後、行き過ぎがあれば改善をしたいと考えている。

Q 渋川地区広域市町村圏振興整備組合（渋川市・吉岡町・榛東村で構成）は県内 35 市町村の中でリサイクル率が最低となっている。それに応じて大きなコストの支払いを余儀なくされている。これらの改善で多額な経費削減と、同時に資源の有効活用が図られる。知恵を使えばたくさんの取り組みがあり、住民の協力を得て先進地となる取り組みをすべきと思うが。

A 県内でリサイクル率の 1 番高いところは 47.2%、吉岡町は 34 位で 6.1%。循環型社会の構築、有効活用を飛躍的に推進するには先進的な取り組みが必要であり、他の自治体が行っている取り組みの中に町が行える取り組みも多々あると考える。こうした取り組みを着実に増やしながら、先進地の取り組みを参考にし、循環型社会の構築を進めていきたい。

物産館「かざぐるま」の今後は

振興公社と連携し取り組む

Q 物産館「かざぐるま」が吉岡町振興公社の運営になったが、現在の取り組みと課題、今後の対応をどのように考えているか。

A 売れる売り場づくりと満足頂ける商品の継続陳列、生産者の開拓も重要という点が考えられる。他地域生産者への声掛けを行い、吉岡町振興公社と町が強固に連携し取り組んでいく。



生産者の開拓も必要（物産館「かざぐるま」）

町の財政状況は



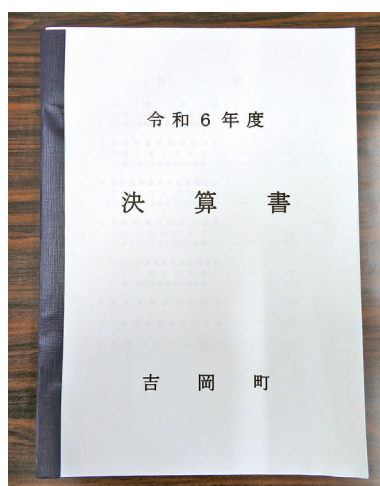
さ か た か ず ひ ろ
坂田 一広 議員



A 投資に使える財源が少なく、大変厳しい

Q 令和6年度の決算を受け、町長は町の財政状況についてどのように考えるか。

A 財政健全化判断比率は、早期健全化基準に達していない状況。しかし、義務的経費が歳出に占める割合が多い状況であり、施策として、自由に利用できる財源が少ないということとなり、大変厳しい状況。



町の財政は大変厳しい（令和6年度決算書）

Q 町の借金である地方債のうち、償還の際にどれくらい交付税措置されるか。

A 地方債残高は、約75億円。後年度に交付税措置で算入される見込額は、約46億8000万円。

Q 渋川広域組合の起債残高のうち、町の負担部分は財政健全化比率のうち、将来負担比率に算入されるが、起債残高はどれくらいか。

A 約6億2000万円。

Q 広域組合では、廃棄物処理施設の建設が予定されている。町の負担部分はどれくらいか。

A 現在の試算で、町の負担部分は、約7億2000万円。今後の国勢調査の結果により、町の負担が増えることも予想される。また、広域組合では、清掃センターの基幹的改良工事、し尿処理施設の新設工事も予定されている。

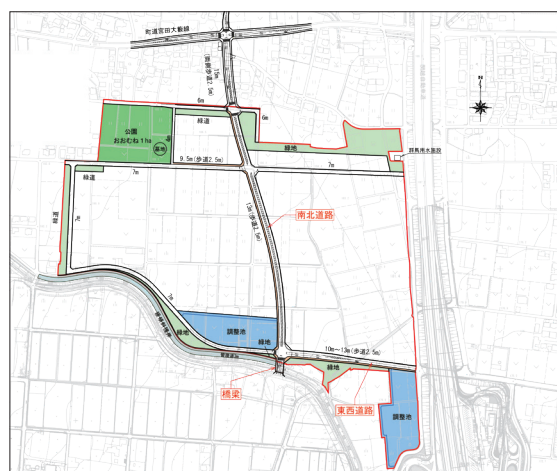
大規模事業は他の事業に影響を与えかねないが
優先順位の明確化と段階的な執行が不可欠

Q 給食センター建て替え事業の今後のスケジュールは。

A 令和8年度に事業者の選定、公募事業者決定などを進める。最終的には令和11年の9月から給食の提供を始めたい。

Q 給食センター建て替え事業に約35億円、産業系企業の誘致で、県から土地を購入し分譲販売するオーダーメイド方式を採用した場合には数十億円と、これらは町が手がけてきた事業で最も費用のかかるものだ。リスクをかがえれば町が現在行っている事業や、今後予定している他の事業に大きな影響を与えかねない。慎重な判断が求められるが。

A これら大型事業は資産規模が大きく、現在の財政状況を考慮すると、優先順位の明確化と段階的な執行が不可欠。財政の健全性を損なう過度な投資は、住民サービスの低下や財政信認の低下を招く恐れがある。今後、地域経済の活性化と財政健全化の両立を図るべく慎重に判断していく必要がある。



慎重な判断が求められる
（駒寄スマートIC周辺の産業団地計画案）

議会広報研修で学びました

全国町村議会広報研修

8月28日に、東京都渋谷区 LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で開催された、「令和7年度全国町村議会広報研修会」に参加しました。北海道から沖縄まで43都道府県より1000人近い参加者の中、群馬県からは7町村が参加しました。3人の講師による各1時間の講座を聴く形で、①インタビュー記事活用について②スマホ活用の動画制作の有効利用について③現役議員による議会活性化と広報の連動についてと、どれも吉岡町議会広報の今後の改善に資するものでした。



群馬県町村議会議長会 広報研修

9月29日に、前橋市の群馬県町村会館で開催された、令和7年度群馬県町村議会議長会広報研修に参加しました。講師には（一社）日本経営協会の中本正樹氏を迎え、対話形式によって実践的な研修が行われました。記事構成や誌面デザインなど広報の基本が丁寧に掘り下げられ、「ベースの徹底」の重要性を再認識する大変貴重な機会となりました。今後の広報活動において、読者である住民の皆さんに伝わる誌面づくりを意識し、より効果的な情報発信に努めてまいります。



議会への表敬訪問と視察受け入れがありました

神奈川^{かいせいまち}県開成町

7月18日に、神奈川県開成町議会が吉岡町議会を表敬訪問されました。開成町は、神奈川県西部に位置する自然豊かな町です。小田急線の駅があり東名高速道路にも近く、アクセスの良さと落ち着いた住環境が魅力です。議会広報常任委員会が開成町議会への視察を行ったことがきっかけに交流が始まり、令和6年12月には災害時相互応援協定を締結しました。今回の表敬訪問では、それぞれの町の子育てや教育についての意見交換を行い、吉岡町文化財センター・三津屋古墳へご案内しました。



宮城^{わくやちょう}県涌谷町

9月26日に、宮城県涌谷町議会の総務産業建設常任委員会が吉岡町へ視察に来られました。涌谷町は、宮城県北部に位置する歴史と自然が調和した町です。日本で初めて金が産出された地として知られています。また、地域の伝統文化や祭りも盛んです。視察では「なぜ吉岡町の人口が増え続けているのか」について、町の立地や幹線道路の整備、子育てや教育における施策への評価という視点からの説明を行いました。



モニターを募集します

吉岡町議会では、町民の皆さまからの意見を聴取して、より内容の充実を図ることを目的に、議会だよりモニターを募集します。
皆さまのご応募をお待ちしております。

主な活動内容

・議会だより発行時に郵送されるアンケート用紙へご意見などの記入

対象

- ・18歳以上の町民
- ・議会が行う広報・広聴活動に深い関心を持ち、かつ、公正な社会的見識を有する人
- ・現に吉岡町の職員でない人

任期

委嘱の日（令和8年2月頃を予定）から1年間
※再任は1回を限度とします。

募集人数

16人以内
※応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

募集期間

令和7年10月17日（金）～11月17日（月）まで（必着）

応募方法

任意の様式で①住所、②氏名、③年齢、④性別、⑤電話番号、⑥日中の連絡先（⑤と同じであれば不要）を明記の上、電子申請、郵送、FAXまたは持参により応募ください。

応募先 吉岡町議会事務局

〒370-3692 吉岡町大字下野田 560 番地
FAX：0279-54-8681



▲詳細はホームページ
をご覧ください



▲電子申請はこちら

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

□お歳暮 □年賀状 □お祭りへの寄付 など

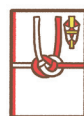
また、町民の皆さまが議員に寄付などを求めることも禁止されています。趣旨をご理解のうえご協力をお願いします。



町内会の集会や
旅行などの催物
への寸志や飲食
物の差し入れ



お祭りへの
寄付や差し入れ



秘書などが代
理で出席する
場合の結婚祝



お歳暮や
お年賀



地域の運動会や
スポーツ大会へ
の飲食物の差し
入れ



入学祝・
卒業祝



秘書などが代理
で出席する場合
の葬式の香典



葬式の花輪・
供花



落成式・
開店祝の花輪

お便りコーナー

クイズの回答とともに、多くのご意見・ご要望が寄せられました。

吉岡町がより一層住みやすくなることを願っています。

以前引っ越してきた際に、ペットボトルと空き瓶の回収用の手提げ袋を頂いたと思います。今はないとのことですが、リサイクル推進のためにもぜひ復活をご検討ください。

今年度から、紙面が横書き・左書き紙面になって見やすくなりました。でも、広報よしおかの保存ファイルにはさむと、表紙が後ろになってしまい不便です。広報保存ファイルと議会だより保存ファイル作ってもらえたらうれしいです。

給食費の無償化をぜひしてほしい。

いつもギカイだより楽しみにしています。

空き家の対策は、ぜひ検討をお願いします。

道路脇に側溝がある道路の雑草の処理をお願いします。道幅が狭い道路にふたのない側溝が多くあり危険だと思います。

ギカイだよりクイズ NO.149

- 問1 一般質問は何人が行ったでしょう。
A. 8人 B. 9人 C. 10人
- 問2 令和7年第3回定例会の会期は何日でしょうか。
A. 14日間 B. 15日間 C. 16日間
- 問3 令和7年第3回定例会で認定された議案は何件でしょうか。
A. 7件 B. 10件 C. 15件
- 問4 (任意) 皆さんの声を聴かせてください。ご意見やご要望などをお寄せください。「お便りコーナー」で紹介します。

応募方法

はがきに答えの記号(例1-A)、住所、氏名、年齢、職業の記入または二次元コードから応募してください。
※個人情報商品の発送のみに使用します。

応募先

〒370-3692

吉岡町大字下野田560番地 吉岡町議会事務局

応募期限 12月1日消印有効

賞品 正解者の中から抽選で5人に、図書カード1,000円分をプレゼントします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



▲応募はこちら

前回の正解は1-A、2-A、3-Aでした。

皆さんの傍聴をお待ちしています

次の議会は12月上旬を予定しています。
会議は9時30分から始まります。
詳しい日程などは広報よしおか11月号に掲載されます。
また、町ホームページでもお知らせします。

編集後記

県内で日本最高気温が記録されるなど、本年は本当に酷暑でしたが、最近は朝晩が少しひんやりと感じる日が増えました。「暑さ寒さも彼岸まで」、過ごしやすい秋の気配を日々感じられるようになりましたね。秋の夜長に皆さんが手にとっていただけるよう、収穫を待つ稲穂のように、充実したギカイだよりをお届けできるような編集を心掛けました。ぜひ一読いただけると幸いです。(山崎 守人)

議会広報常任委員会

委員長 小林 静弥
副委員長 山崎 守人
委員 宮内 正晴 秋山 光浩
大井 俊一 藤多ゆかり
春山 和久

発行 吉岡町議会
責任者 議長 富岡 大志
住所 群馬県北群馬郡吉岡町大字下野田560
TEL 0279-54-3111